

阿寒川洪水ハザードマップ

(ヌカマンベツ川との合流点より下流)

計画規模 (阿寒川で想定する計画規模の雨量 224mm/24hr)

※計画規模とは概ね50年に1度の確率

洪水ハザードマップについて

- このハザードマップでは、阿寒川において、計画規模の洪水が発生した場合の浸水想定区域と浸水深、避難施設を示しています。
- このハザードマップは、釧路総合振興局公表の「阿寒川水系阿寒川洪水浸水想定区域図(計画規模)」(令和元年6月)に基づき作成しています。
- なお、阿寒川以外の河川の氾濫、高潮及び内水を考慮していないため、浸水想定区域として示していない場所においても浸水する場合や、示した浸水深より深くなる場合があります。

すばやく避難行動を取るために

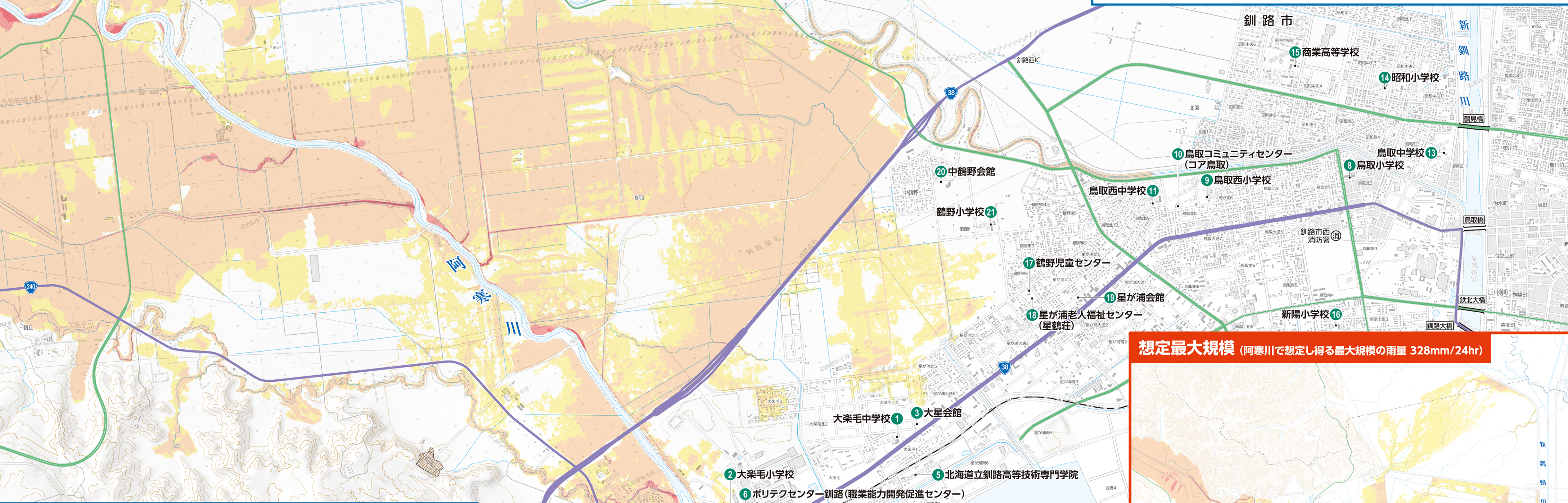
洪水による被害の発生が予想される場合、市の災害対策本部から、市ホームページ・市フェイスブック・テレビ・ラジオ・防災行政無線(スピーカー)や広報車などを使って市民の皆様へ避難に関する情報をお知らせいたします。テレビ・ラジオをつけて最新の気象情報、災害情報に注意し、いつでも避難できるように準備をしてください。

災害の危険度	警戒レベル	状況	避難情報と気象情報	とるべき避難行動
高	警戒レベル 5	災害発生又は切迫	避難情報 緊急安全確保※1 気象情報 大雨特別警報 氾濫発生情報	命の危険 直ちに安全確保!
～警戒レベル4までに必ず避難!～				
	警戒レベル 4	災害のおそれ高い	避難情報 避難指示 気象情報 土砂災害警戒情報 氾濫危険情報	危険な場所から 全員避難
	警戒レベル 3	災害のおそれあり	避難情報 高齢者等避難※2 気象情報 大雨・洪水警報 氾濫警戒情報	危険な場所から 高齢者等は避難
	警戒レベル 2	気象状況悪化	気象情報 大雨・洪水注意報 氾濫注意情報	避難に備え、ハザードマップなどにより自らの避難行動を確認
低	警戒レベル 1	今後気象状況悪化のおそれ	気象情報 早期注意情報(警報級の可能性)	災害への心がまえを高める

※1: 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、必ず発令される情報ではありません。
 ※2: 高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

- 22 山花温泉リフレ
- 12 山花小中学校

スカマンベツ川



指定避難施設一覧

番号	施設名称	住所	番号	施設名称	住所
1	大楽毛中学校	大楽毛1-10-1	12	山花小中学校	山花14線132
2	大楽毛小学校	大楽毛4-10-11	13	鳥取中学校	昭和町2-5-53
3	大星会館	大楽毛北1-1-10	14	昭和小学校	昭和中央3-12-2
4	工業高等専門学校	大楽毛西2-32-1	15	商業高等学校	昭和中央5-10-1
5	北海道立釧路高等技術専門学院	大楽毛南1-2-51	16	新陽小学校	新富士町4-6
6	ポリテクセンター釧路(職業能力開発促進センター)	大楽毛南4-5-57	17	鶴野児童センター	星が浦北3-1-10
7	大楽毛西会館	大楽毛131-12	18	星が浦老人福祉センター(星鶴荘)	星が浦北3-1-35
8	鳥取小学校	鳥取北3-13-24	19	星が浦会館	星が浦大通2-7-22
9	鳥取西小学校	鳥取北7-5-5	20	中鶴野会館	鶴野58-3062
10	鳥取コミュニティセンター(コア鳥取)	鳥取北8-3-10	21	鶴野小学校	鶴野58-5157
11	鳥取西中学校	鳥取北9-7-1	22	山花温泉リフレ	山花14線131

※避難施設の開設については、洪水時における地域の状況に応じて順次開設しますので、開設状況などの詳しい情報は、市ホームページ、FMくしろ(76.1MHz)等でご確認ください。

- 工業高等専門学校 4
- 大楽毛西会館 7

1 : 25,000 (1km=4cm)

釧路市Webハザードマップ
 右のQRコードからスマートフォン等で確認できます。

令和3年9月発行
 釧路市防災危機管理課 ☎31-4207
 測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R2JHs 66-GISMAP44875号

凡例

- 国 道
- 道 道
- 鉄 道
- 行政区境界
- 急傾斜地崩壊危険箇所
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸浸食)

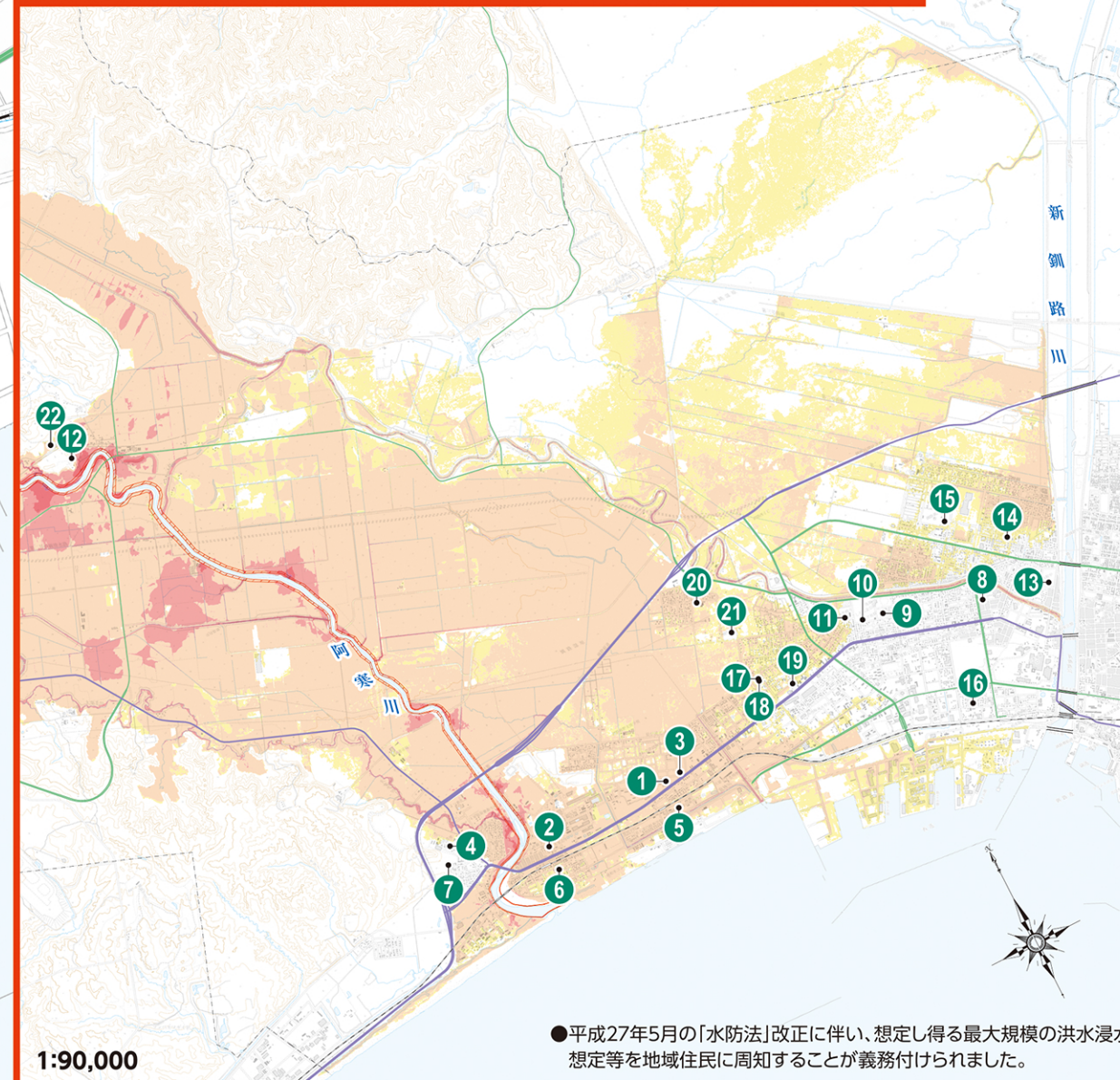
着色された色の見方

浸水深の区分

- 5.0m以上の区域
- 3.0~5.0m未満の区域
- 0.5~3.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域

■マップに着色された色は、それぞれの地点の最大の浸水深を示しています。
 ■この図は標準的な建物の大きさと浸水深との関係を示しています。

想定最大規模 (阿寒川で想定し得る最大規模の雨量 328mm/24hr)



●平成27年5月の「水防法」改正に伴い、想定し得る最大規模の洪水浸水想定等を地域住民に周知することが義務付けられました。